

白馬村へ 愛を込めて

2030年をターゲットとした
白馬村ゼロカーボン行動計画提言 概要

2023年6月
白馬村住民・事業者有志一同

LOVE LETTER

TO HAKUBA

本行動計画のポイント

提言の背景

- ・ 具体的な行動計画の必要性
- ・ 先進的に取り組むことのメリット
- ・ 住民/事業者と行政による課題の共有と、協力・協業が必須

行動計画 提言

- ・ ゼロカーボンの達成と同時に地域課題の解決を目指す
- ・ 3つの重点取り組みと7つの具体的な取り組み提案

「行動計画」提言の背景

「この10年間に行う選択や実施する対策が、現在から数千年先まで影響を持つ」

(IPCC第六次報告書 2023年3月)

ゼロカーボンビジョン達成に向けた2030年までの

具体的な行動計画の必要性

**「今」着手すれば、
国や県の支援を得られやすい**

住民・事業者と行政の協業

現状課題と、行動計画を実現した白馬村

2050年 ゼロカーボン

白馬村の地域課題

- 地域内経済循環
- 雇用・産業の創出
- 農地・緑地・景観の保全
- 住まい
- 人口減少・少子高齢化
- 防災

国内外から注目を集める観光地

行動計画に基づく施策の達成は、

- ゼロカーボンの達成
- 地域課題の解決
- 観光地として持続可能性、魅力向上

行動計画の目標（値）

住民生活と地域経済の持続可能性の向上と、温室効果ガスの排出抑制の両立

2030年 CO2排出削減 目標*

68 2016年度比
%削減

・長野県ゼロカーボン戦略で設定されている目標を参考として目標値を設定

2030年 再エネ導入*

17.6 MW

・白馬村ゼロカーボンビジョンの2050年再エネ導入目標値を参考に設定

7つの取り組み

7つのテーマに取り組みを分類し、それぞれに取り組み内容とその主体、CO2削減量と効果、取り組み推進懸念事項、参考事例／関連補助金情報を掲載

①

建物の断熱



暮らしの快適性や村民の健康、
経済的メリットに貢献



- 高性能な新築建物の普及
- 既存建物の断熱改修等の促進
- 地域中心地での集合住宅計画

②

移動・輸送



EVの普及、公共交通機関や
徒歩や自転車でも移動しやすい「まち」



- 公用車のEVシェアリング
- シャトルバスなど地域交通のEV化
- 個人のEV購入助成制度
- EV充電設備の整備
- 自転車の利用を促進

③

事業活動の 低炭素化



省エネでコストカット
観光地としての魅力向上



- 条例の制定
- 新税の導入
- 既築宿泊施設の省エネ改修
- 送迎用マイクロバス/社用車のEV化促進
- 農業機械の低炭素化の促進
- 地中熱ハウスの導入
- ソーラーシェアリングの導入
- 環境配慮型農業の促進
- 林業
- 小売、飲食、サービス業等の低炭素化の促進
- スキー場における低炭素化の促進

④

エネルギー



エネルギーの地産地消
地域内経済循環を創出、防災にも貢献



- 地域エネルギー会社の設立
- PPA
- 太陽光パネル設置の投資回収における支援体制の確立
- 再生可能エネルギーの適切な導入を促進する条例の制定
- エネルギー情報の提供を求める条例の制定
- 中部電力所有の炬川、松川、楠川水力発電への関与、電力調達

⑤

家庭における 省エネ



省エネ機器と地域資源の活用で光熱費を削減
住民の環境意識向上



- 省エネ家電、設備の買い替え支援
- 地域コンポストの導入
- 薪ストーブとペレットストーブの購入補助金制度の導入

⑥

人材育成



自立した地域の取組を支える、
専門知識とスキルの習得と蓄積



- 関連事業に携わる人材に対する育成や研修体制の整備
- 住民主体の育成事業「地域と暮らしのゼロカーボン勉強会」
- 学校、教育機関との連携事業

⑦

公共施設



公共施設をモデルケースに活用
公共施設の管理費削減



- 公共施設での再エネ切り替え
- 公共施設の屋根と壁にソーラーパネルの設置と公共施設の屋根貸し
- 役場周辺の公共施設に対する地域熱供給と電力供給

3つの重要施策

観光の拠点となるスキー場と、村内のCO2排出の24%を占める宿泊事業を中心とした3つの重要施策により、白馬村のCO2排出量削減と同時に、観光地としての価値・魅力の向上を図る

再生可能エネルギー

- 地域エネルギー会社の設立
- 再エネ発電の導入支援、環境整備
- 公共施設の屋根ソーラー設置
- 公共施設の再エネ切り替え
- 公共施設に対する地域熱・電力供給

断熱

- 宿の断熱改修
- 省エネ公営住宅
- 断熱事業者育成
- 住民・事業者への啓発
- 環境使途の新税導入

交通

- スキー場シャトルバス、宿の送迎車両のEV化、効率化
- 公用車のEV化、シェアリング
- EV充電施設の拡充
- マイカーに代わる交通手段の提供
- 自転車利用の促進

スキー場

宿泊事業者



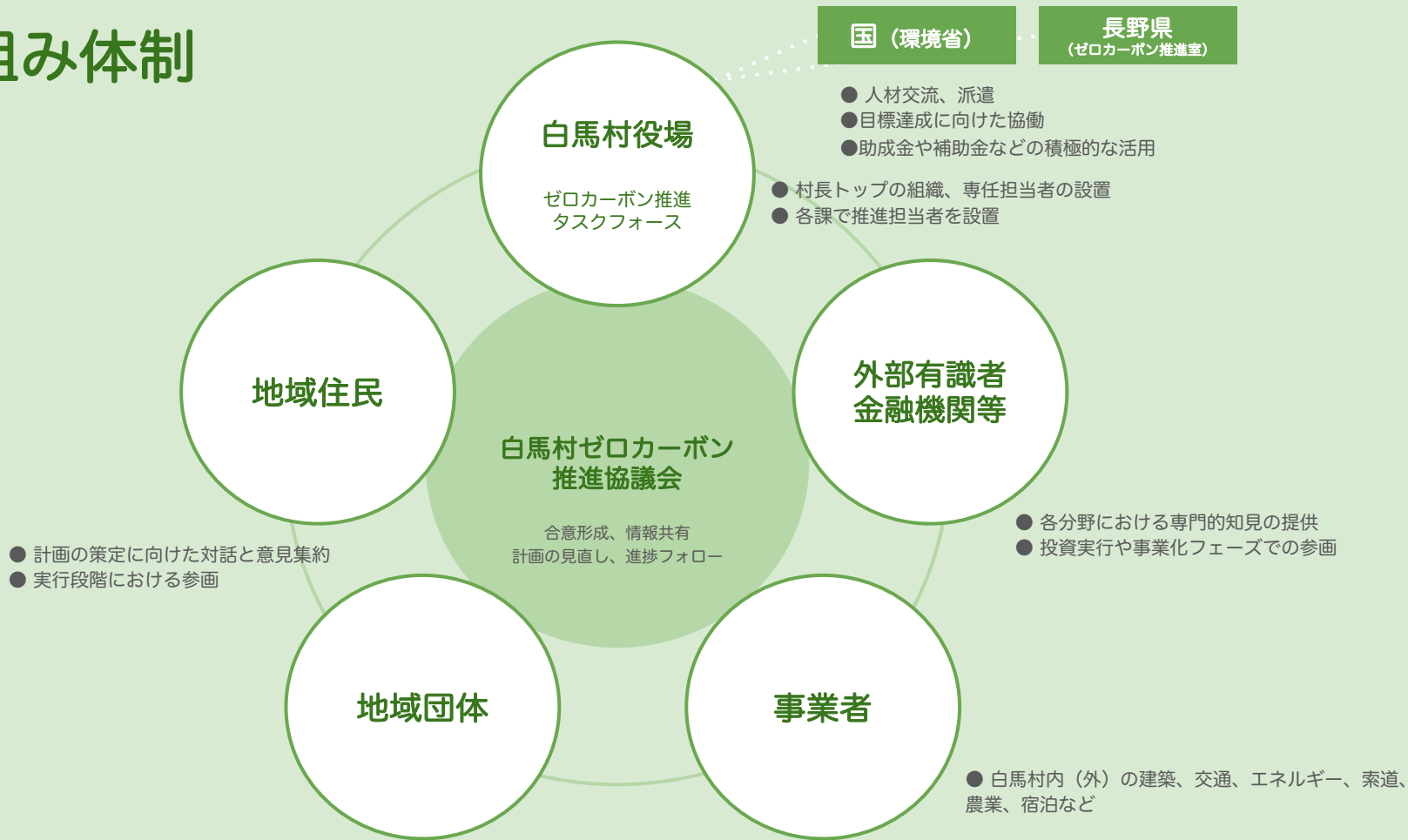
行政（白馬村）

住民

取り組みのキープレイヤー

取り組みを後押しする存在

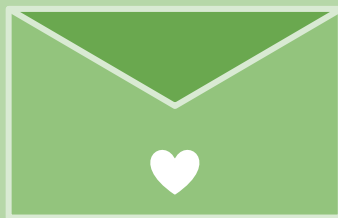
取り組み体制



まとめ

2050年のゼロカーボン実現に向けた、
2030年ターゲットの行動計画

- ・ 本行動計画は、
様々な**地域課題の解決**と同時に、**温室効果ガスの削減を目指す**
- ・ 3つの重要取り組み：**再エネ、建物の断熱、交通**
- ・ 行動・目標の実現には、**住民と行政の協業が必須**
- ・ 本行動計画作成の**原動力は「白馬への愛」**



白馬村住民・事業者有志一同

石田幸央（しくみ株式会社）
尾川耕（白馬村村議会議員）
加藤ソフィ（オーガニック喫茶sol / 白馬村村議会議員）
鈴木瞳（一般社団法人Protect Our Winters Japan）
高田翔太郎（一般社団法人Protect Our Winters Japan）

坪井夏希（パタゴニア日本支社）
宗川公紀（IL BOSCO）
由井愛（パタゴニア白馬）
横山義彦（株式会社 守破離）
渡辺俊介（白馬EVクラブ）



「2030年をターゲットとした白馬村ゼロカーボン行動計画提言」および
本概要書は、WEBページよりPDFにてご覧いただけます。

<https://protectourwinters.jp/hakubazeroarbon/>